Panasonic®

取扱説明書　基本操作編

デジタルカメラ/
レンズキット / ダブルレンズキット / ボディ

品番 DMC-GF5X/DMC-GF5W
DMC-GF5

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(54～59ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

本機の詳しい操作説明について

本機の使い方や使用上のお願いなど詳しい操作説明は、本機のCD-ROM(付属)に記録された「取扱説明書 詳細操作編」(PDFファイル)に記載されています。

- パソコンにコピーしてお読みください。コピーのしかたは3ページをお読みください。

保証書別添付

VQT4F81-1
F0312CT1052

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください（54～59ページ）

落下を防ぐために

ショルダーストラップを取り付けてからお使いください。

● ショルダーストラップの取り付け方は、11 ページをお読みください。

取扱説明書 詳細操作編（PDF形式）を読む

本機操作の詳細については、CD-ROM（付属）の「取扱説明書 詳細操作編」に記載されています。パソコンにコピーしてお読みください。

■ Windowsの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）を入れる

2 インストールメニューが表示されたら、[取扱説明書] をクリックする

3 [日本語] が選ばれている状態で、[取扱説明書] をクリックしてコピーする

4 デスクトップの [取扱説明書] のショートカットアイコンをダブルクリックして開く

■ 取扱説明書 詳細操作編（PDF形式）が開けないときは

取扱説明書 詳細操作編（PDF形式）を閲覧・印刷するためには、Adobe Acrobat Reader 5.0 以降、またはAdobe Reader 7.0以降が必要です。
お使いのパソコンにインストールされていない場合は、CD-ROM（付属）を入れ、[Adobe Reader]をクリックしたあと、画面のメッセージに従って進み、インストールしてください。
（対応OS: Windows XP SP3/Windows Vista SP2/Windows 7）

- Adobe Readerは、下記のサイトからダウンロードすることもできます。
  http://get.adobe.com/jp/reader/otherversions/

■ 取扱説明書 詳細操作編（PDF形式）をアンインストールするには

"Program Files￥Panasonic￥Lumix￥" フォルダー内のPDFファイルを削除してください。

■ Macの場合

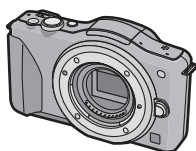
1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）を入れる

2 CD-ROMの「Manual」フォルダーを開く
- 「Manual」フォルダーがもう一度表示されます。

3 表示された「Manual」フォルダーを開き、言語フォルダーの中の PDF ファイルをコピーする

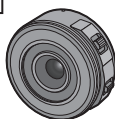
4 PDFファイルをダブルクリックして開く

「取扱説明書 詳細操作編」は、下記サポートサイトでもご覧いただけます。
http://panasonic.jp/support/dsc/

同梱品

デジタルカメラボディ
（本文中では**本体**と表記します）

付属品をご確認ください。 ☑
記載の品番は2012年4月現在のものです。変更されることがあります。

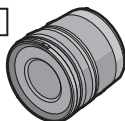
DMC-GF5X（レンズキット商品）に同梱

☐

交換レンズ（H-PS14042）
LUMIX G X VARIO PZ14–42 mm/
F3.5–5.6 ASPH./POWER O.I.S.
（本文中では**レンズ**と表記します/
お買い上げ時はデジタルカメラ
ボディに装着されています）

☐

レンズキャップ VYF3443
（お買い上げ時は交換レンズに装着されています）

DMC-GF5W（ダブルレンズキット商品）に同梱

☐

交換レンズ（H-FS014042）
LUMIX G VARIO 14–42 mm/
F3.5–5.6 ASPH./MEGA O.I.S.
（本文中では**レンズ**と表記します）

☐

レンズキャップ VYF3201
（お買い上げ時は交換レンズに装着されています）

☐

レンズフード
VYC1009

☐

レンズリアキャップ VFC4315
（お買い上げ時は交換レンズに装着されています）

☐

交換レンズ（H-H014）
LUMIX G 14 mm/F2.5 ASPH.
（本文中では**レンズ**と表記します /
お買い上げ時はデジタルカメラ
ボディに装着されています）

☐

レンズキャップ VYF3371
（お買い上げ時は交換レンズに装着されています）

DMC-GF5（ボディ商品）に同梱

☐

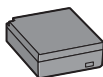
ボディキャップ VKF4385
（お買い上げ時はデジタルカメラボディに装着されています）

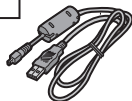
☐

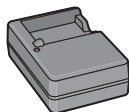
バッテリーパック
DMW-BLE9
（本文中では**バッテリー**と表記します）
● 充電してからお使いください。

☐

バッテリーチャージャー※
DE-A99A
（本文中では**チャージャー**と表記します）

☐

USB 接続ケーブル
K1HY08YY0025

☐

CD-ROM
● ソフトウェア
● 取扱説明書 詳細操作編
（パソコンにインストールしてお使いください）

☐

ショルダーストラップ
VFC4765

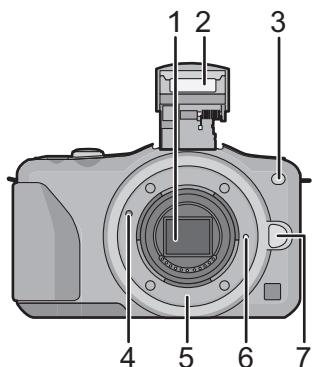
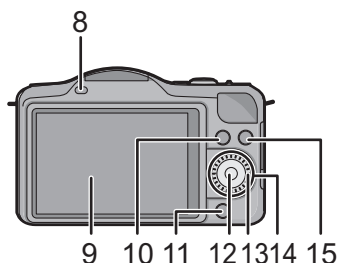
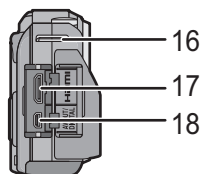
※ 予備のチャージャーを購入されるときは、別売品のチャージャー（DMW-BTC9）をお買い求めください。

- **カードは別売です。**
- 別売品については45ページを参照してください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 本書では交換レンズ（H-PS14042）を用いて説明をしています。
- 付属品をなくされたときは、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口（P63）にお問い合わせください。

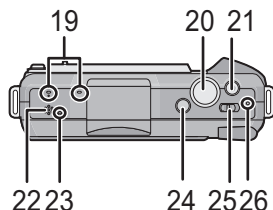
CLUB Panasonic
付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
http://club.panasonic.jp/mall/sense/
携帯電話からもお買い求めいただけます。
http://p-mp.jp/cpm/

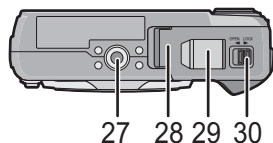
各部の名前

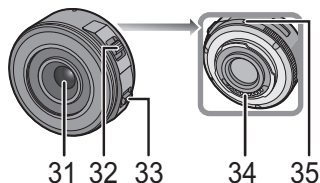
■ デジタルカメラボディ

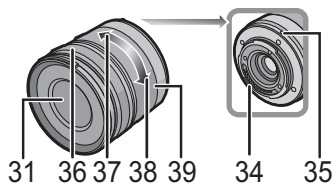
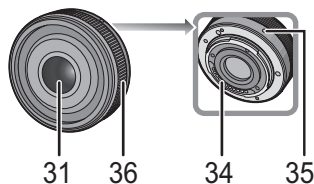
1　センサー
2　フラッシュ発光部
3　セルフタイマーランプ /
　　AF補助光ランプ
4　レンズ取り付けマーク(P10)
5　マウント
6　レンズロックピン
7　レンズ取り外しボタン(P10)

8　フラッシュOPENボタン(P15)
9　タッチパネル/液晶モニター
10 再生ボタン(P32)
11 [Q.MENU/ Fn1]ボタン(P23、24)/
　　🗑/⮌ボタン(P34)
12 [MENU/SET] ボタン(P35)
13 コントロールダイヤル(P15、31)
14 カーソルボタン(P15、31)
　　▲(上)/ 露出補正ボタン(P20)
　　▶(右)/WBボタン(P21)
　　◀(左)/ オートフォーカスモードボタン(P20)
　　▼(下)/ ドライブモードボタン(P21)
　　　　以下の設定をすることができます。
　　　　単写 / 連写 / オートブラケット / セルフタイマー
15 [DISP.] ボタン(P16、31)

16 ショルダーストラップ取り付け部(P11)
17 [HDMI]端子
18 [AV OUT/DIGITAL]端子

マイク
19 ステレオ MIC
- ●マイクを指で塞がないようお気をつけください。音が記録されにくくなります。

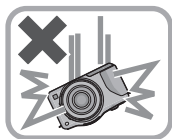
20 シャッターボタン(P17)
21 動画ボタン(P18)
22 スピーカー
- ●スピーカーを指で塞がないようお気をつけください。音が聞こえにくくなります。

23 撮影距離基準マーク
インテリジェントオート
24 ボタン(P26)
25 電源スイッチ(P14)
26 電源表示ランプ(P14)

27 三脚取り付け部
28 カード/バッテリー扉(P12、13)
29 カプラーカバー
- ●AC アダプターを使用するときは、当社製の AC アダプター(別売 :DMW-AC8)と DC カプラー(別売: DMW-DCC11)を使用してください。
- ●他の機器のACアダプターは使用しないでください。

30 開閉レバー(P12、13)

■ 同梱レンズ

H-PS14042
(LUMIX G X VARIO PZ 14–42 mm/F3.5–5.6 ASPH./POWER O.I.S.)

31 レンズ面
32 ズームレバー(P19)
33 フォーカスレバー
34 接点
35 レンズ取り付けマーク(P10)
36 フォーカスリング
37 T側(望遠)
38 W側(広角)
39 ズームリング(P19)

H-FS014042
(LUMIX G VARIO 14–42 mm/F3.5–5.6 ASPH./MEGA O.I.S.)

H-H014
(LUMIX G 14 mm/F2.5 ASPH.)

ご使用の前に

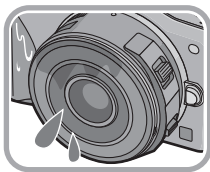
■ 本機の取り扱いについて…

本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

- 下記のような状態で使用すると、レンズや液晶モニター、外装ケースが破壊される可能性があります。
  また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。
  ・本機を落とす、またはぶつける
  ・レンズ部や液晶モニターを強く押さえつける

本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。
ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

- 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。
  ・砂やほこりの多いところ
  ・雨の日や浜辺など水がかかるところ

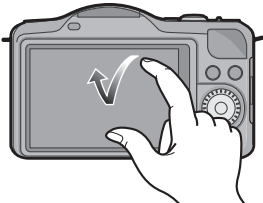
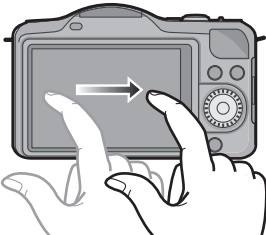
デジタルカメラボディのマウント内に手を入れないでください。センサー部は精密機器ですので故障、破損の原因になります。

■ 露付きについて（レンズや液晶モニターが曇るとき）…

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズや液晶モニターの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- 露付きが起こった場合、電源スイッチを［OFF］にし、2 時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

■ 事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

タッチパネルを使う

本機のタッチパネルは圧力を感知するタイプです。

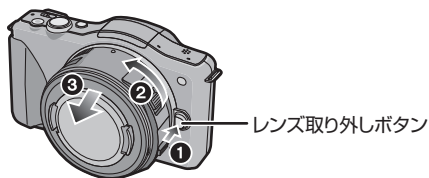
画面をタッチする タッチパネルを押して離す動作です。	**ドラッグする** タッチパネルを押したまま動かす動作です。
タッチパネルに表示されるアイコンや画像を選択するときなどに使います。 ● 複数のアイコンを同時にタッチすると、正常に動作しないことがありますので、アイコンの中央付近をタッチしてください。	AF エリアを移動したり、スライドバーを操作するときなどに使います。 再生時は画像を送ることなどもできます。

レンズを交換する

●電源スイッチが[OFF]になっていることを確認してください。

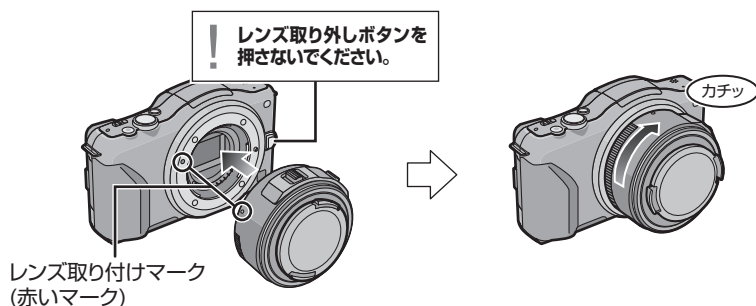
■ レンズの取り外し方

準備:レンズキャップを取り付けてください。

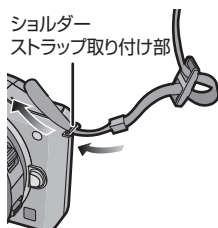
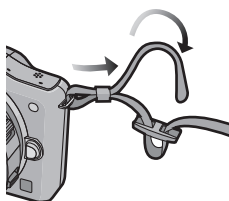
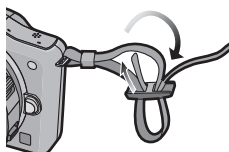
レンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して外す

■ レンズの取り付け方

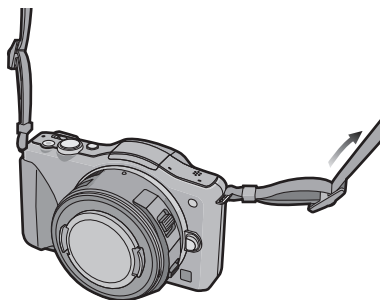
準備:レンズのレンズリアキャップを外してください。

●本機にボディキャップが付いているときは外してください。

レンズ取り付けマーク(赤いマーク)を合わせて、レンズを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回す

ショルダーストラップを付ける

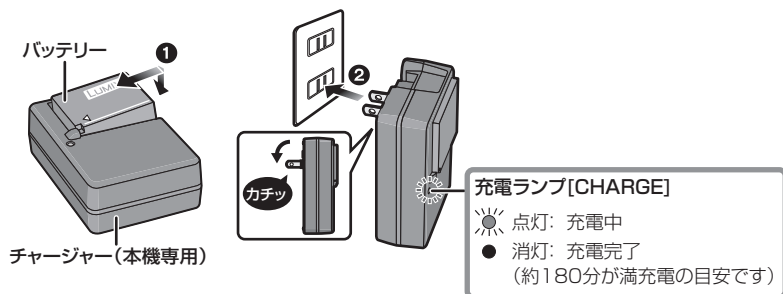
●落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてご使用いただくことをお勧めします。

1 ショルダーストラップを本体のショルダーストラップ取り付け部に通す

2 矢印に従って、ショルダーストラップの端をリングに通したあと、留め具に通す

3 ショルダーストラップの端を留め具のもう一方の穴に通す

4 ショルダーストラップのもう一方を引いて、抜けないことを確認する

- 手順**1**～**4**の操作を行って、もう片方のショルダーストラップも取り付けてください。

充電する

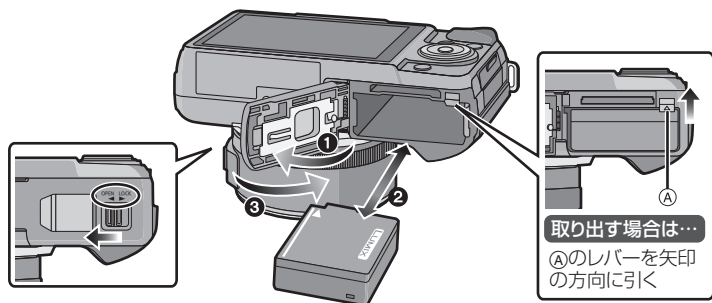
● お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。

1 チャージャーにバッテリーを取り付ける

2 電源プラグをカチッと音がするまで起こして、電源コンセントへ差し込む

バッテリーを入れる

1 開閉レバーを [OPEN] 側にスライドさせて扉を開く

2 向きに気をつけて、ロック音がするまで確実に奥まで挿入し、バッテリーにⒶのレバーがかかっていることを確認する

3 扉を閉じて、開閉レバーを [LOCK] 側にスライドさせる

カード(別売)を入れる

1 開閉レバーを [OPEN] 側にスライドさせて扉を開く

2 向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れる

3 扉を閉じて、開閉レバーを [LOCK] 側にスライドさせる

本機で使えるカードの種類

	備考
SDメモリーカード(8 MB～2 GB)/ miniSDカード※1/microSDカード※1	●**動画撮影の際は、SDスピードクラス※2が「Class4」以上のカードを使用してください。** ●SDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードまたはSDXCメモリーカード対応機器で使用できます。 ●SDXCメモリーカードは、SDXCメモリーカード対応機器でのみ使用できます。 ●SDXCメモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。 http://panasonic.jp/support/sd_w/ ●本機は UHS-I 規格の SDHC/SDXC メモリーカードに対応しています。 ●左記の容量以外のカードは使えません。
SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB)/ microSDHCカード※1	
SDXCメモリーカード (48 GB、64 GB)	

※1 本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。
※2 SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。
（例）

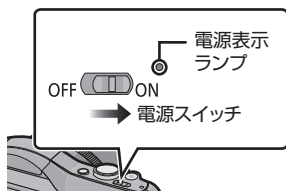
CLASS④

● **最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
http://panasonic.jp/support/dsc/

時計を設定する

● お買い上げ時は、時計設定されていません。

1 電源スイッチを[ON]にする

● 電源が入ると電源表示ランプが点灯します。

2 [時計設定]をタッチする

3 合わせたい項目(年・月・日・時・分)をタッチして、[⌃]/[⌄]で設定する

4 設定が終わったら[決定]をタッチする

5 確認画面で [決定]をタッチする

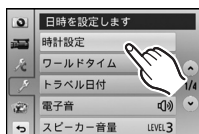
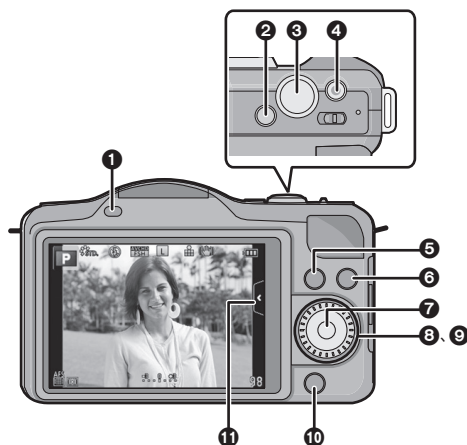
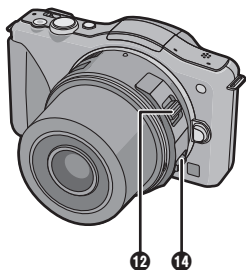
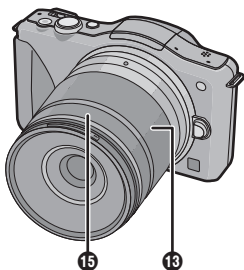
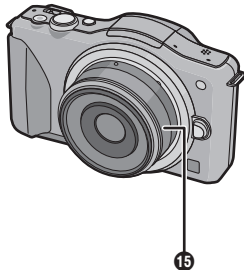
時計設定を変更する

1 [MENU/SET]を押す

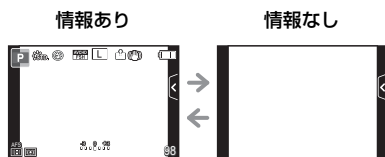
2 [ ](セットアップ)をタッチする

3 [時計設定]をタッチする

● 時計設定画面が表示されます。

撮る

❶ フラッシュOPENボタン	フラッシュが開きます。
❷ [iA] ボタン(P26)	撮影モードを [iA] に切り換えます。
❸ シャッターボタン(P17)	写真を撮影します。
❹ 動画ボタン(P18)	動画を撮影します。
❺ 再生ボタン(P32)	撮影と再生を切り換えます。
❻ DISP. ボタン(P16)	押すごとに液晶モニターの表示を切り換えます。
❼ MENU/SET ボタン(P35)	メニュー画面を表示します。
❽ カーソル ボタン	▲:コントロールダイヤルの設定項目を露出補正に切り換えます。(P20) ▼:ドライブモード設定画面を表示します。(P21) ◀:オートフォーカスモード設定画面を表示します。(P20) ▶:ホワイトバランス設定画面を表示します。(P21)
❾ コントロールダイヤル(P20)	回すことで項目の選択や数値の設定などを行います。
❿ Q.MENU(P24)/ Fn1 ボタン(P23)	一部のメニューを簡単に呼び出します。 設定を変更すると、割り当てた機能を使います。
⓫ タッチタブ(P17)	タッチシャッターなどのタッチアイコンを表示します。

⑫ ズームレバー(P19)	ズーム操作します。
⑬ ズームリング(P19)	
⑭ フォーカスレバー	手動でピント合わせを行います。
⑮ フォーカスリング	

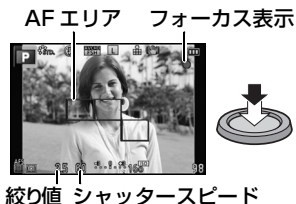
■ 液晶モニターの表示を切り換える(撮影時)

[DISP.]を押すごとに液晶モニターの表示は以下のように切り換わります。

- 約1分以上何も操作しないと、画面の表示が一部表示されなくなります。[DISP.]を押したり、液晶モニターをタッチすると再度表示されます。

写真を撮る

1 撮影モードを選ぶ(P25)

2 シャッターボタンを半押し(軽く押す)してピントを合わせる

- ピントが合うと、フォーカス表示(緑)が点灯し、ピントが合った位置にAFエリアが表示されます。(ピントが合わないときは、フォーカス表示が点滅します)
- ピントが合うまで撮影できません。
- 絞り値とシャッタースピードが表示されます。(適正露出にならないときは、赤くなり点滅します)

3 シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)して撮影する

タッチ操作で写真を撮る(タッチシャッター機能)

ピントを合わせたい被写体にタッチするだけで、ピントを合わせて自動的にシャッターを切ります。

1 [ ]をタッチする

2 [ ]をタッチする

- アイコンが[ ]に変わり、タッチシャッター撮影が可能な状態になります。

3 ピントを合わせたい被写体をタッチする

- AFエリアが表示され、ピントが合うと撮影されます。

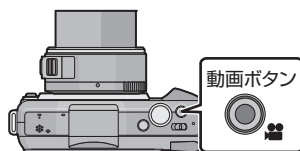
■ タッチシャッター機能を解除するには

[ ]をタッチする

動画を撮る

1 撮影モードを選ぶ(P25)

2 動画ボタンを押して撮影を開始する

● 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。

● 動画の記録中は、記録動作表示(赤)が点滅します。
● 約1分以上何も操作しないと、画面の表示が一部表示されなくなります。[DISP.]を押したり、液晶モニターをタッチすると再度表示されます。

記録経過時間　記録動作表示

記録可能時間

3 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

動画撮影中に写真を記録する

動画撮影中でも写真を記録することができます。(同時記録)

動画撮影中に、シャッターボタンを全押しする

● 写真を記録中は同時記録表示が表示されます。
● タッチシャッター機能(P17)を使って、写真を撮影することもできます。

同時記録表示

ズームを使って撮る

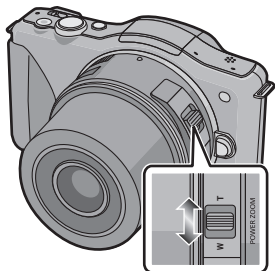
風景などを広く(広角:W 側)撮ったり人や物を大きく(望遠:T 側)撮ることができます。

ズーム操作はレンズによって異なります。

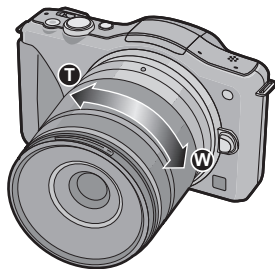
ズームレバーのある交換レンズ(H-PS14042)をお使いの場合

T 側に動かす:望遠、大きく撮る

W 側に動かす:広角、広く撮る

● ズームレバーを動かす幅によって、ズームスピードが変わります。

ズームリングのある交換レンズ(H-FS014042)をお使いの場合

Ⓣ 側に回す:望遠、大きく撮る

Ⓦ 側に回す:広角、広く撮る

● 交換レンズ(H-H014)には、ズームレバーもズームリングもありません。

オートフォーカスモードを設定する

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

1 フォーカスモードを[AFS]、[AFF]または[AFC]に設定する（P22）

2 ◀( )を押す

3 オートフォーカスモードを選び、タッチする

4 [決定]をタッチする

露出を補正して撮る

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

露出アンダー

適正露出

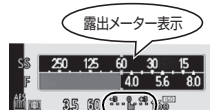
露出オーバー

右に回して、
露出をプラス方向に
補正してください。

左に回して、
露出をマイナス方向に
補正してください。

1 ▲( )を押して露出補正操作に切り換える

2 コントロールダイヤルを回して、露出を補正する

- 露出を補正しない場合は、"0"を選んでください。
- コントロールダイヤルを回すと、[露出メーター]が表示されます。

ホワイトバランスを設定する

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

1 ►(WB)を押す

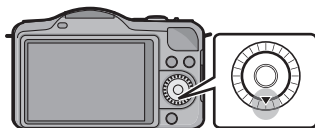
2 ホワイトバランスを選び、タッチする

- [<]/[>]をタッチすると、項目を切り換えることができます。

3 [決定] をタッチする

ドライブモードを設定する

連写やセルフタイマーなどのドライブモードを設定します。

1 ▼(連写/セルフタイマー)を押す

2 ドライブモードを選び、タッチする

単写	シャッターボタンを押すと１枚だけ撮影します。
連写	シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
オートブラケット	シャッターボタンを押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら撮影します。
セルフタイマー	シャッターボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。

3 項目を選び、タッチする

4 [決定] をタッチする

ISO 感度を設定する

光に対する感度(ISO感度)を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。

1 撮影メニューから[ISO感度]を選ぶ(P35)

2 設定したい項目をタッチする

AUTO	明るさに応じて、自動的にISO感度を調整します。
iISO(インテリジェントISO)	被写体の動きと明るさに応じて、ISO感度を調整します。
160～6400※	それぞれのISO感度に固定します。

※[拡張ISO感度]設定時は、[ISO12800]まで設定できます。

フォーカスモードを設定する

被写体の動き、撮影シーンに合わせて、フォーカスモードを選ぶことができます。

1 撮影メニューから[フォーカスモード]を選ぶ(P35)

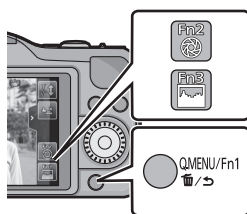
2 設定したい項目をタッチする

AFS	静止している被写体を撮影するとき(風景、記念撮影など)
AFF	動きが予測できない被写体を撮影するとき(子供、ペットなど)
AFC	動いている被写体を撮影するとき(スポーツ、鉄道など)
MF	手動でピントを合わせたいとき

ファンクションボタンに機能を割り当てる

[Fn1](ファンクション)ボタンや[Fn2]、[Fn3]アイコンに、カスタムメニューの[Fnボタン設定]に登録されている撮影機能などを割り当てることができます。

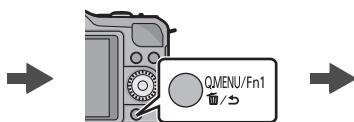
[Fn1] はボタンを押すことで、[Fn2]、[Fn3]はアイコンをタッチすることで、割り当てた機能を使うことができます。

- [Fn1]を使用するには、カスタムメニューの[Q.MENU/Fn1ボタン]を [Fn1]に設定してください。

1 カスタムメニューの[Fnボタン設定]から[Fn1]、[Fn2]または[Fn3]を選びタッチする(P35)

2 割り当てる機能をタッチする

- [Fn1]、[Fn2]、[Fn3]のそれぞれにお好みの機能を割り当ててください。
- 設定後はメニューを終了してください。

露出やピントを固定して撮る

被写体のコントラストが強すぎて適正露出が得られない場合(AEロック)や、被写体がAFエリアから外れた構図で撮りたい場合(AFロック)などに便利です。

❶ 画面を合わせる

❷ ファンクションボタンを押す

❸ 撮りたい構図に動かす

1 カスタムメニューの[Fn ボタン設定]を[AF/AE ロック]に設定する

- [AF/AE ロック]は[Fn2]、[Fn3]に割り当てることはできません。
- [Fn1]を使用するには、カスタムメニューの[Q.MENU/Fn1 ボタン]を [Fn1]に設定してください。

2 被写体に画面を合わせる

3 [Q.MENU/Fn1] を押し、ピントや露出を固定する

- もう一度[Q.MENU/Fn1]を押すと、ロックは解除されます。

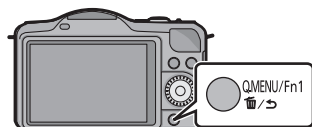
4 撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする

- [AE]設定時は、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、全押ししてください。

AE ロック表示

クイックメニューを使う

クイックメニューを使うと、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。

1 [Q.MENU/Fn1] を押して、クイックメニューを表示する

2 メニュー項目をタッチする

- [◁]/[▷]をタッチすると、メニュー項目を切り換えることができます。

メニュー項目

設定内容

3 設定内容を選びタッチする

4 設定が終了したら[終了]をタッチしてメニューを終了する

- クイックメニューが終了します。

■ よく使うメニューをクイックメニューに追加する

1 [Q⚙]をタッチする

2 上段からメニューを選び、下段へドラッグする

- ドラッグした場所に空きがない場合、入れ替えるメニュー項目へドラッグしてください。
  入れ替えて設定することができます。
- 下段から上段にドラッグすると設定が解除され、空き項目になります。

クイックメニューとして設定できる項目

クイックメニュー画面に表示できる項目

3 [終了]をタッチする

- 上記手順*1*の画面に戻ります。撮影画面にするには[終了] をタッチしてください。

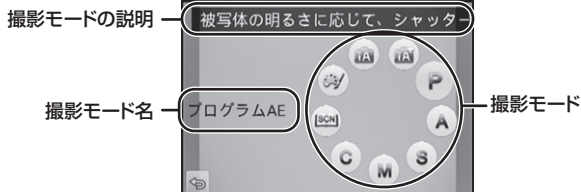
撮影モードを選ぶ

1 [MENU/SET] を押す

2 [撮影モード] をタッチする

● 撮影モードの一覧画面が表示されます。

3 撮影モードを選び、タッチする

● タッチした撮影モードの説明文が表示されます。
● そのまま指を離すと決定されます。タッチしたままアイコンのない位置に指を動かしてから離すと、決定されません。

■ 基本

iA	**インテリジェントオートモード** カメラにおまかせで撮影します。
iA+	**インテリジェントオートプラスモード** おまかせの設定を簡単に好みに合わせて撮影します。
P	**プログラム AE モード** お好みの設定で撮影します。

■ 応用

A	**絞り優先 AE モード** 絞り値を決めて撮影します。
S	**シャッター優先AEモード** シャッタースピードを決めて撮影します。
M	**マニュアル露出モード** 絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。
C	**カスタムモード** あらかじめ登録しておいた設定で撮影します。
SCN	**シーンガイドモード** 撮影シーンに合わせて撮影します。
	クリエイティブコントロールモード 画像効果を確認しながら撮影します。

■ 撮影画面でモードを選ぶ

撮影状態で撮影モードアイコンをタッチして、撮影モードの一覧画面を表示させることもできます。

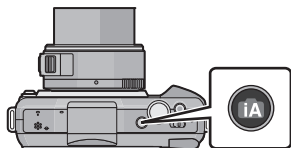
インテリジェントオートモードを使う

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラにおまかせで気軽に撮りたいときにお勧めです。

撮影モードを[iA]に設定する(P25)

- 撮影画面で[ ]をタッチし、[ ]をタッチすると、ボケ味コントロールを設定できます。(P26)
- 被写体をタッチすると追尾 AF 機能が働きます。

■ [iA] ボタン

[iA]ボタンを押すことで、撮影モードのインテリジェントオート(iA または iA+)モードとそれ以外のモードとの切り換えができます。

- 撮影モードが iA または iA+ の時は[iA]ボタンが点灯します。(撮影中は消灯します)
- 撮影モードの iA と iA+ との切り換えは、25ページの撮影モードの設定方法で切り換えてください。

■ 自動シーン判別について

カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。

ボケ味コントロール機能を使って撮る

背景のボケ具合を画面で確認しながら簡単に設定することができます。

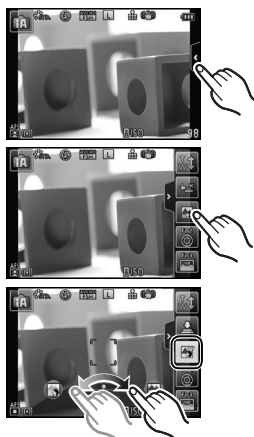
1 [ ]をタッチする

2 [ ]をタッチして、設定画面を表示する

3 スライドバーをドラッグして、設定する

- コントロールダイヤルを回しても設定できます。

4 写真または動画を撮影する

- [ ]をタッチすると、ボケ味コントロール操作を終了します。

カメラがおすすめする画像効果で撮る

自動シーン判別で判別されたシーンによっては、カメラが自動でおすすめする数種類の画像効果（フィルター）を、作例写真を見ながら選ぶことができます。（撮影メニューの [おすすめフィルター] を [ON] に設定している場合のみ。お買い上げ時は [ON] に設定されています。）

1 自動シーン判別後に表示される [ ] をタッチする

● カメラがおすすめする画像効果の選択画面が表示されます。

2 作例写真で画像効果（フィルター）を選び、タッチする

● 選んだ作例写真の画像効果が、プレビュー表示に反映されます。

● [ ]/[ ] をタッチすると、画像効果を切り換えられます。

プレビュー表示

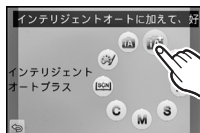
3 [決定] をタッチする

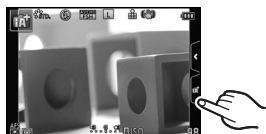
● 選んだ画像効果のクリエイティブコントロールモードになります。

安全上のご注意
準備
撮る
見る
メニュー設定
パソコンとの接続
その他

インテリジェントオートプラスモードを使う

インテリジェントオートプラスモードにすると、カメラが最適に設定した明るさや色合いを、簡単にお好みに合わせることができます。

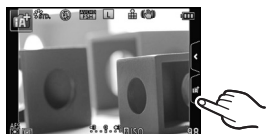
撮影モードを [ ] に設定する (P25)

■ 明るさを設定する

1 [ ] をタッチする

2 [ ] をタッチして、設定画面を表示する

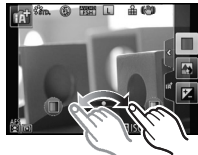
3 スライドバーをドラッグして、設定する

- 画像の明るさを調整します。
- もう一度[ ]をタッチすると撮影画面に戻ります。

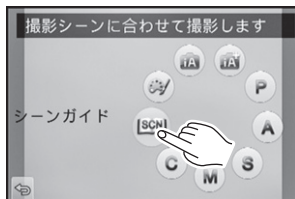
■ 色合いを設定する

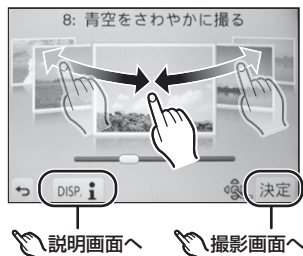
1 [ ] をタッチする

2 [ ] をタッチして、設定画面を表示する

3 スライドバーをドラッグして、設定する

- 画像の色合いを赤っぽい色から青っぽい色まで調整します。
- もう一度[ ]をタッチすると撮影画面に戻ります。

シーンガイドモードを使う

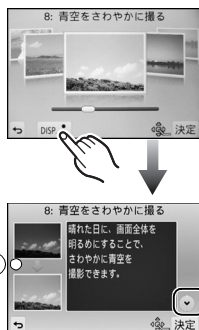
作例写真を見ながら、被写体や撮影状況に合わせてシーンを選択すると、カメラが最適な露出や色調、ピントの合わせ方などを設定し、シーンに合った撮影ができます。

1 撮影モードを [SCN] に設定する (P25)

2 作例写真をドラッグしてシーンを選ぶ

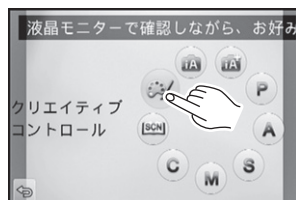
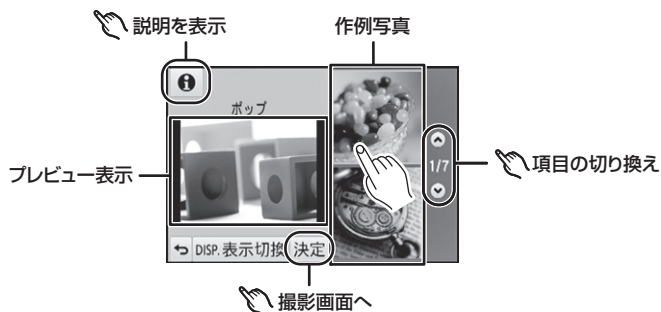
説明画面へ　撮影画面へ

3 [決定]をタッチする

■ 説明画面を表示する

シーンを選ぶ画面で [DISP.] をタッチすると、シーンに合わせた写真表現のための説明などが表示されます。もっと写真表現を楽しみたい方には、説明を読んで撮影してみることをお勧めします。

- [⌃]/[⌄]をタッチすると、ページを切り換えられます。

クリエイティブコントロールモードを使う

画像に効果を加えて撮影することができます。画像に加える効果は、作例写真から選べ、画面で確認しながら設定できます。

1 撮影モードを［ ］に設定する (P25)

2 作例写真で画像効果（フィルター）を選び、タッチする

3 ［決定］をタッチする

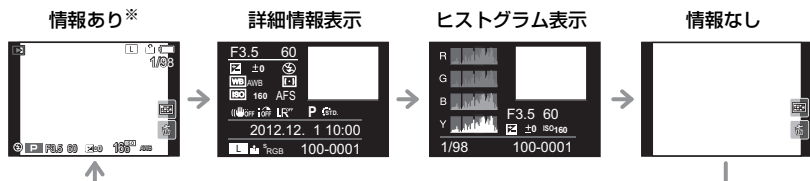
■ 画像効果の説明を表示する

［ ］をタッチすると、選択されている画像効果の説明が表示されます。

見る

❶ 再生ボタン(P32)	撮影と再生を切り換えます。
❷ DISP. ボタン	液晶モニターの表示を切り換えます。
❸ MENU/SET ボタン(P35)	メニュー画面を表示します。
❹ カーソルボタン	▲:動画を再生します。(P32) ◀:前の画像を選びます。 ▶:次の画像を選びます。
❺ コントロールダイヤル	左に回すと複数の画像を一覧表示します。 ●「1画面」→「12画面」→「30画面」→「カレンダー再生」 ●一覧表示後は右に回すことで、元に戻せます。
	右に回すと、拡大表示します。 ●「1 倍」→「2 倍」→「4 倍」→「8 倍」→「16 倍」 ●拡大表示後は左に回すことで、元に戻せます。
❻ 🗑/↩ボタン(P34)	画像を消去します。
❼ 消去(P34)	画像を消去します。
❽ マルチ再生(P33)	複数の画像を一覧表示します。

■ 液晶モニターの表示を切り換える(写真再生時)

[DISP.]を押すごとに液晶モニターの表示が切り換わります。

●約1分以上何も操作しないと、画面の表示が一部表示されなくなります。[DISP.]を押したり、液晶モニターをタッチすると再度表示されます。

安全上のご注意
準備
撮る
見る
メニュー設定
パソコンとの接続
その他

写真を見る

1 [▶] を押す

2 画面を水平にドラッグして画像を送る

次の画像へ送る：右から左にドラッグ
前の画像に戻す：左から右にドラッグ

動画を見る

本機で再生できる動画のファイル形式は本機または当社製デジタルカメラ（LUMIX）で撮影した AVCHD（AVCHD Progressive を除く）、MP4、QuickTime Motion JPEG です。

1 [▶] を押す

2 動画アイコン（[🎥]）が付いた画像を選び、[▶] をタッチして再生する

- 再生を開始すると、画面に再生経過時間が表示されます。
- カーソルボタンの▲を押しても、動画を再生することができます。

動画アイコン

動画記録時間

■ 動画再生中の操作

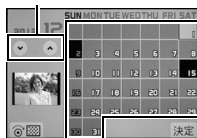
▶/II	再生/一時停止	■	停止
◀◀	早戻し再生	▶▶	早送り再生
◀II	コマ戻し（一時停止中）	II▶	コマ送り（一時停止中）
−	音量下げる	＋	音量上げる

一覧表示にして見る（マルチ再生）

[ ] をタッチする

- 以下のアイコンをタッチすると、再生画面を切り換えることができます。
  - ·[ ]：1 画面　　·[ ]：12 画面
  - ·[ ]：30 画面　　·[CAL]：カレンダー再生
- スライドバーに[∧]/[∨]が表示されている場合は、タッチして画面を切り換えてください。

■ カレンダー再生中の操作

[∧]/[∨]	再生したい月を選択します
[10]など	再生したい日を選択します
[決定]	選択している日に撮影した画像を一覧表示します

拡大して見る（再生ズーム）

拡大したい部分をタッチする

- タッチするごとに倍率が変わります。
  1 倍⇨2 倍⇨4 倍⇨8 倍⇨16 倍
- 画面をドラッグすると拡大部分を移動することができます。
- [×1.0]をタッチすると元の大きさ（1 倍）に戻ります。
- [ ]をタッチすると倍率は小さくなります。

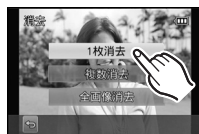
画像を消去する

画像は一度消去すると元に戻すことができませんので、お気をつけください。

1 再生状態で消去する画像を選び、[🗑]をタッチする

- [🗑/↩]を押すことでも同じ操作ができます。

2 [1枚消去]をタッチする

- 確認画面が表示されます。
  [はい]を選ぶと消去されます。

■ 複数の画像を消去する

1 再生状態で [🗑]をタッチする

2 [複数消去]をタッチする

3 消去したい画像をタッチする（繰り返す）

- 設定した画像に[🗑]が表示されます。もう一度タッチすると設定が解除されます。

4 [実行]をタッチする

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。

■ 全画像を消去する

1 再生状態で [🗑]をタッチする

2 [全画像消去]をタッチする

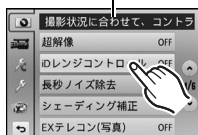
- [全画像消去]→確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。

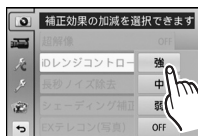
メニューを設定する

1 [MENU/SET] を押す

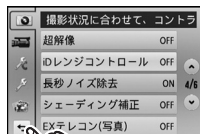
2 メニューアイコンをタッチする

3 メニュー項目をタッチする

- タッチしたメニュー項目の説明文が表示されます。
- メニュー項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされ方が異なるものがあります。

4 設定内容をタッチして決定する

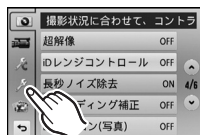
- タッチした設定内容の説明文が表示されます。

手順 ***3***、***4*** で、メニュー項目/設定内容のアイコンをタッチすると、説明文が表示されます。
・そのまま指を離すと、決定されます。
・タッチしたままアイコンのない位置に指を動かしてから離すと、決定されません。

■ メニューを終了する

[↩]をタッチする、またはシャッターボタンを半押しする

■ 他のメニューに切り換えるには

例）撮影メニューからセットアップメニューに切り換える

[ ]などのメニュー切り換えアイコンをタッチする

- 続けてメニュー項目を選んで設定してください。

メニュー一覧

撮影

画像横縦比、記録画素数などをお好みで設定できます。

● [フォトスタイル]、[フォーカスモード]、[測光モード]、[超解像]、[iDレンジコントロール]、[デジタルズーム]は、撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

フォトスタイル	撮影したいイメージに合わせて効果を選択することができます。効果の色や画質を調整することができます。 ● **スタンダード、ヴィヴィッド、ナチュラル、モノクローム、風景、人物、カスタム**
画像横縦比	画像の横縦比を設定します。 ● **4:3、3:2、16:9、1:1**
記録画素数	記録画素数を設定します。 ● **画像横縦比[4:3]設定時:L(12M)、M(6M)、S(3M)** ● **画像横縦比[3:2]設定時:L(10.5M)、M(5M)、S(2.5M)** ● **画像横縦比[16:9]設定時:L(9M)、M(4.5M)、S(2M)** ● **画像横縦比[1:1]設定時:L(9M)、M(4.5M)、S(2M)**
クオリティ	画像を保存するときの圧縮率を設定します。 ● **(ファイン)、(スタンダード)、RAW (RAW+ ファイン)、RAW (RAW+ スタンダード)、RAW (RAW)**
ISO 感度	光に対する感度(ISO感度)を設定できます。 ● **AUTO、iISO(インテリジェント ISO)、160、200、400、800、1600、3200、6400、H.12800([拡張ISO感度]設定時のみ)**
ISO感度上限設定	ISO感度が [AUTO] または[iISO]のときに、選択した数値を上限として最適な ISO 感度を設定します。 ● **200、400、800、1600、3200、OFF**
ISO感度ステップ	ISO感度の設定を 1/3 EVごと、または 1 EV ごとの設定値に変更します。 ● **1/3 EV、1 EV**
拡張 ISO 感度	ISO 感度が[ISO12800]まで設定できるようになります。 ● **ON、OFF**
個人認証	登録した顔に自動で優先的にピントや露出を合わせます。 ● **ON、OFF、登録**
プロフィール設定	あらかじめ赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や月齢/年齢を画像に記録することができます。 ● **(赤ちゃん1)、(赤ちゃん2)、(ペット)、OFF、設定**
フォーカスモード	ピントの合わせ方を設定します。 ● **AFS、AFF、AFC、MF**

クイックAF	シャッターボタンを押した際のピント合わせを速くします。 ● ON、OFF
測光モード	明るさを測る測光方式を設定します。 ● (マルチ測光)、(中央重点測光)、(スポット測光)
フラッシュ	フラッシュの発光のしかたを設定します。 ● (強制発光)、(赤目軽減強制発光)、 (スローシンクロ)、(赤目軽減スローシンクロ)
デジタル赤目補正	フラッシュ発光での赤目を自動的に検出し、画像データを修正します。 ● ON、OFF
超解像	より輪郭がはっきりした、解像感がある写真を撮影します。 ● 強、中、弱、拡張、OFF
iD レンジコントロール	コントラストや露出を自動的に補正します。 ● 強、中、弱、OFF
長秒ノイズ除去	シャッタースピードを遅くして撮影することで発生するノイズを取り除きます。 ● ON、OFF
シェーディング補正	レンズの特性によって画面周辺が暗くなる場合、画面周辺の明るさを補正します。 ● ON、OFF
EX テレコン(写真)	記録画素数を[L] 以外に設定すると、画質を劣化させずに望遠効果を高めます。 ● ON、OFF
デジタルズーム	望遠効果を高めます。拡大するほど画質は劣化します。 ● 4×、2×、OFF
連写速度	連写時の連写速度を設定します。 ● H、M、L
オートブラケット	オートブラケット撮影時の単写/連写設定、補正幅、撮影順序を設定します。 ● 単写/連写設定、補正幅、ブラケット順序
セルフタイマー	セルフタイマー撮影時の撮影までの時間などを設定します。 ● (10秒)、(10秒･3 枚)、(2秒)
色空間	撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、色再現を正しく行うための方式を設定します。 ● sRGB、AdobeRGB
手ブレ補正	撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正します。 ● (通常)、(流し撮り)、OFF
おすすめフィルター	インテリジェントオート(iA または iA+)モード時に、カメラがおすすめする画像効果(フィルター)を表示するかしないかを設定します。 ● ON、OFF

メニュー一覧（続き）

動画

撮影モードや画質設定など、動画撮影時の設定ができます。

● [フォトスタイル]、[フォーカスモード]、[測光モード]、[超解像]、[iDレンジコントロール]、[デジタルズーム]は、撮影メニューと動画撮影メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。
 ・撮影メニューの同じ項目をお読みください。

撮影モード	記録する動画のファイル形式を設定します。 ● AVCHD、MP4
画質設定	記録する動画の画質を設定します。 ● **撮影モード[AVCHD]設定時：** FSH、SH ● **撮影モード[MP4]設定時：** FHD、HD、VGA
AF 連続動作	ピントを合わせた被写体にピントを合わせ続けます。 ● ON、OFF
EX テレコン(動画)	画質設定を[FSH]、[FHD]以外に設定すると、望遠効果が高くなります。 ● ON、OFF
風音低減	音声記録時に風雑音がある場合は、それを自動的に判別し記録しにくくします。 ● AUTO、OFF
マイクレベル表示	マイクレベルを撮影画面に表示するかしないかを設定します。 ● ON、OFF
マイクレベル設定	音声入力のレベルを 4 段階に調整します。
フリッカー軽減	動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定することができます。 ● 1/50、1/60、1/100、1/120、OFF

カスタム

画面の表示方法やボタンの働きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。また、変更した設定内容を登録しておくことができます。

カスタムセット登録	現在のカメラの設定をカスタムセットとして登録します。 ● C1、C2、C3
Q.MENU/Fn1（ファンクション）ボタン	[Q.MENU/Fn1] ボタンに、[Q.MENU]（クイックメニュー）または[Fn1]（ファンクションボタン）を割り当てます。 ● Q.MENU、Fn1
Fn（ファンクション）ボタン設定	ファンクションボタンに、撮影機能などを割り当てます。 ● Fn1、Fn2、Fn3
ヒストグラム	ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。 ● ON、OFF
ガイドライン表示	撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。 ● 田、⊠、⊟、OFF
ハイライト表示	オートレビューまたは再生時に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。 ● ON、OFF
露出メーター	露出メーターを表示するかしないかを設定します。 ● ON、OFF
AF/AEロック切換	AF/AE ロック を行ったときに、ピントや露出の固定内容を設定します。 ● AE、AF、AF/AE
フォーカス優先	ピントが合っていない場合は撮影できないように設定します。 ● ON、OFF
ピンポイントAF時間	オートフォーカスモードを[⊞]に設定時、シャッターボタンを半押ししたときに画面表示が拡大される時間を設定します。 ● LONG（約1.5秒）、MID（約1.0秒）、SHORT（約0.5秒）
AF補助光	暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。 ● ON、OFF
AF+MF	自動でピントを合わせたあと、手動でピントを合わせることができます。 ● ON、OFF
MFアシスト	手動でピントを合わせると拡大表示します。 ● ON、OFF
MFガイド	手動でピントを合わせると、ピントを合わせる方向を確認できるMFガイドを画面に表示します。 ● ON、OFF

メニュー一覧（続き）

パワーズームレンズ	パワーズーム（電動式ズーム）対応交換レンズ使用時の画面の表示やレンズの動作を設定します。 ● **焦点距離表示、ステップズーム、ズーム位置メモリー、ズーム速度、ズームリング操作**
iA ボタン切換	インテリジェントオートモードに切り換えるときの[iA]ボタンの操作方法を設定します。 ● **押して切換、押し続けて切換**
動画ボタン	動画ボタン動作の有効、無効を設定します。 ● **ON、OFF**
記録枠表示	動画撮影時の画角と写真撮影時の画角を切り換えます。 ● **（写真）、（動画）**
残枚数/残時間切換	記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えます。 ● **:（残枚数）、:（残時間）**
タッチ設定	タッチ操作の有効、無効を設定します。 ● **タッチパネル、タッチタブ、タッチ Q.MENU、タッチ AF**
タッチ再生送り速度	タッチ操作で画像を連続して送るときの画像送りの速さを設定します。 ● **H（高速）、L（低速）**
メニュー位置メモリー	最後に操作したメニュー項目の選択位置を、メニューの種類ごとに記憶します。 ● **ON、OFF**
ピクセルリフレッシュ	撮像素子と画像処理の最適化を行います。
センサークリーニング	撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクションを行います。
レンズ無しレリーズ	本体にレンズを取り付けていないときに、シャッターが切れるようにするか、切れないようにするかを設定します。 ● **ON、OFF**

セットアップ

時計の設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。

時計設定	日付や時刻を変更するときに設定します。
ワールドタイム	お住まいの地域と旅行先の時刻を設定します。 ● **旅行先、ホーム**
トラベル日付	旅行の出発日と帰着日を設定したり、旅行先の名前を設定します。 ● **トラベル日付設定** ・設定、OFF ● **旅行先** ・設定、OFF

電子音	フォーカス音、セルフタイマー作動音、警告音の音量を設定します。 ●(大)、(小)、(なし)
スピーカー音量	スピーカーの音量を7段階に調整します。
液晶調整	液晶モニターの明るさや色合い、または赤みや青みなどの色みを調整します。
液晶モード	周囲の明るさに応じて、液晶モニターの明るさを設定できます。 ●(AUTO)、(MODE1)、(MODE2)、(MODE3)
エコモード	本機の電力消費を抑えたり、バッテリーの消耗を防ぎます。 ●スリープモード ・10分、5分、2分、1分、OFF ●自動液晶OFF ・30分、5 分、2 分、1 分 ●ライブビューモード ・通常、ECO
オートレビュー	写真撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。 ●ホールド、5秒、3秒、1秒、OFF
USBモード	USB接続ケーブル(付属)接続時の通信方式を設定します。 ●接続時に選択、PictBridge(PTP)、PC
映像出力	テレビなどとの接続のしかたを設定します。 ●TV画面タイプ ・16:9、4:3 ●HDMI出力解像度 ・AUTO、1080i、480p
ビエラリンク	ビエラリンク対応機器と自動的に連動させます。 ●ON、OFF
3D テレビ出力	3D画像の出力方法を設定します。 ●3D、2D
回転表示	本機を縦に構えて撮影した写真を縦向きに表示させることができます。 ●ON、OFF
メニュー背景色	メニュー画面の背景色を設定します。
バージョン表示	本体とレンズのファームウェアバージョンを確認できます。
番号リセット	画像のファイル番号を0001に戻します。
設定リセット	設定をお買い上げ時の状態に戻します。 ●撮影設定、セットアップ/カスタム設定
フォーマット	カードをフォーマット(初期化)します。

メニュー一覧（続き）

再生

画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。

2D/3D 切換	3D 画像の再生方法を切り換えます。
スライドショー	画像の種類などを選んで、順番に再生します。 **●全画像、写真のみ、動画のみ、3D、カテゴリー選択、お気に入り**
再生モード	再生する画像の種類などを選び、特定の画像のみを再生します。 **●通常再生、写真のみ、動画のみ、3D、カテゴリー再生、お気に入り再生**
タイトル入力	撮影した写真に文字（コメント）を入力します。 **● 1 枚設定、複数設定**
文字焼き込み	撮影した写真に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込みます。 **● 1 枚設定、複数設定**
動画分割	撮影した動画を 2 つに分割します。
リサイズ（縮小）	画像のサイズ（記録画素数）を小さくします。 **● 1 枚設定、複数設定**
トリミング（切抜き）	撮影した写真の必要な部分を切り抜きます。
画像回転	画像を手動で 90°ずつ回転させます。
お気に入り	画像にマークを付け、お気に入り画像として設定します。 **● 1 枚設定、複数設定、全解除**
プリント設定	プリントする画像や枚数などを設定します。 **● 1 枚設定、複数設定、全解除**
プロテクト	画像を誤って消去することがないように保護します。 **● 1 枚設定、複数設定、全解除**
認証情報編集	個人認証に関する情報の解除や入れ換えをします。 **●入換え、解除**

付属のソフトウェアを使う

付属のCD-ROMには、以下のソフトウェアが収録されています。
パソコンにインストールしてお使いください。

PHOTOfunSTUDIO 8.2 AE (Windows XP/Vista/7)

写真や動画をパソコンに取り込んだり、撮影日や機種名などで分類して整理するなど、画像を管理することができるソフトウェアです。さらに、DVD への画像の書き込みや、画像補正、動画の編集などもできます。

SILKYPIX Developer Studio (Windows XP/Vista/7、Mac OS X v10.4/v10.5/v10.6/v10.7)

RAWファイルの画像を現像や編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式(JPEG、TIFF など)で保存できます。

**SILKYPIX Developer Studio の使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」または市川ソフトラボラトリーのサポートサイト
http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/support/
をご覧ください。**

LoiLoScope -30日間フル体験版(Windows XP/Vista/7)

LoiLoScope は、お手持ちのパソコンをフル活用する、かんたんに動画編集できるソフトウエアです。今までになかった机の上でカードを並べるようにして作るアナログ操作は、覚えることなく初めてでも思いのままに操作し、DVD、Webサイト、メール等々を使い、すばやく動画や写真を友達に届けることができます。

- インストールされるのは、体験版ダウンロードサイトへのショートカットのみになります。

**LoiLoScope の詳しい使い方は、以下のサイトから「マニュアル」をダウンロードしてご覧ください。
使い方 Web サイト:http://loilo.tv/product/20**

付属のソフトウェアを使う（続き）

ソフトウェアをインストールする

● CD-ROMを入れる前に、他の起動中のアプリケーションソフトをすべて終了してください。

1 お使いのパソコンの環境を確認する

● 「PHOTOfunSTUDIO 8.2 AE」の動作環境

<table>
<tr><td>対応OS</td><td colspan="2">Windows® XP(32 bit) SP3
Windows Vista®(32 bit) SP2
Windows® 7(32 bit/64 bit) および SP1</td></tr>
<tr><td rowspan="3">CPU</td><td>Windows® XP</td><td>Pentium® Ⅲ 500 MHz以上</td></tr>
<tr><td>Windows Vista®</td><td>Pentium® Ⅲ 800 MHz以上</td></tr>
<tr><td>Windows® 7</td><td>Pentium® Ⅲ 1 GHz以上</td></tr>
<tr><td>ディスプレイ</td><td colspan="2">1024×768以上（1920×1080 以上を推奨）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">搭載メモリ</td><td>Windows® XP</td><td rowspan="2">512 MB以上</td></tr>
<tr><td>Windows Vista®</td></tr>
<tr><td>Windows® 7</td><td>1 GB以上（32 bit）
2 GB以上（64 bit）</td></tr>
<tr><td>ハードディスク</td><td colspan="2">インストールに450 MB以上の空き容量</td></tr>
</table>

その他の動作環境について、詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書（PDF）をお読みください。

● 「SILKYPIX Developer Studio 3.1 SE」の動作環境は、43 ページのサポートサイトをお読みください。

2 CD-ROMを入れる

● インストールメニューが起動します。

3 [アプリケーション] をクリックする

4 [おまかせインストール] をクリックする

● 画面のメッセージに従ってインストールを進めてください。

お知らせ

● お使いのパソコンに対応したソフトウェアのみがインストールされます。
● PHOTOfunSTUDIOはMacでは使えません。
● Mac では、SILKYPIX を手動でインストールすることができます。
❶ CD-ROM を入れる
❷ CD-ROM の「Application」フォルダーをダブルクリックする
❸ 自動で表示されるフォルダーをダブルクリックする
❹ フォルダー内にあるアイコンをダブルクリックする

別売品のご紹介

品名	品番
バッテリーパック	DMW-BLE9
バッテリーチャージャー※1	DMW-BTC9
DCカプラー※2	DMW-DCC11
ACアダプター※2	DMW-AC8
ズームアシストレバー	DMW-ZL1※3
本革バッグ	DMW-BAL1
ソフトバッグ	DMW-BAG1、DMW-BAG2
ソフトケース	DMW-CG3※4、DMW-CG4※4
本革ボディケース	DMW-CGB5
ボディケース･ストラップキット	DMW-BCSK2
レンズキャップ	DMW-LFC37※5、DMW-LFC46※6、DMW-LFC52※7
レンズリアキャップ	DMW-LRC1
ボディキャップ	DMW-BDC1
三脚アダプター※8	DMW-TA1
ショルダーストラップ	DMW-SSTL1、DMW-SSTG1、DMW-SSTG2、 DMW-SSTG3、DMW-SSTG5
ロングショルダーストラップ※9	DMW-SSTG6、DMW-SSTG7、DMW-SSTG8
ハンドストラップ	DMW-HSTG1
ワイドコンバージョンレンズ(0.79 ×)	DMW-GWC1※10
マクロコンバージョンレンズ	DMW-GMC1※10
フィッシュアイコンバージョンレンズ	DMW-GFC1※10
コンバージョンレンズキット	DMW-GCK1※10
テレコンバージョンレンズ(2.0 ×)	DMW-GTC1※11

※1　海外用変換プラグ(C タイプ)付き

※2　DCカプラーとACアダプターは、必ずセットでお買い求めください。単独では使用できません。他の機器のACアダプターは使用しないでください。

※3　交換レンズ(H-PS14042、H-H014)では使用できません。

※4　交換レンズ(H-FS014042)装着時は使用できません。

※5　交換レンズ(H-PS14042)装着時

※6　交換レンズ(H-H014)装着時

※7　交換レンズ(H-FS014042)装着時

※8　取り付けたレンズが三脚の台座に接触する場合にお使いください。

※9　斜め掛けに適したロングタイプのショルダーストラップです。

※10　交換レンズ(H-PS14042、H-H014)装着時

※11　交換レンズ(H-PS14042)装着時

別売品のご紹介（続き）

品名	品番
MCプロテクター	DMW-LMCH37※12、DMW-LMC46※13、DMW-LMC52※14
NDフィルター	DMW-LND37※12、DMW-LND46※13、DMW-LND52※14
PLフィルター（サーキュラータイプ）	DMW-LPL37※12、DMW-LPL46※13、DMW-LPL52※14
AV ケーブル	DMW-AVC1
HDMIミニケーブル	RP-CDHM15、RP-CDHM30
交換レンズ	·H-PS45175 ·H-PS14042 ·H-VS014140 ·H-FS100300 ·H-FS045200 ·H-FS014045 ·H-F007014 ·H-F008 ·H-ES045 ·H-X025 ·H-H020 ·H-H014
3D交換レンズ	H-FT012
マウントアダプター	DMW-MA1（フォーサーズマウント用）
ライカレンズ用マウントアダプター	DMW-MA2M（ライカMマウント用） DMW-MA3R（ライカRマウント用）

※12　交換レンズ（H-PS14042）では、これらのフィルターをお使いいただくことをお勧めします。
※13　交換レンズ（H-H014）では、これらのフィルターをお使いいただくことをお勧めします。
※14　交換レンズ（H-FS014042）では、これらのフィルターをお使いいただくことをお勧めします。

- その他のレンズをお使いの場合は、お使いのレンズに対応したフィルターをお使いください。

- 別売品の最新情報は、カタログ／ホームページなどをご覧ください。
  http://panasonic.jp/support/dsc/

記載の品番は2012年4月現在のものです。変更されることがあります。

仕様

電源 DC 8.4 V
消費電力 2.2 W（撮影時）[交換レンズ(H-PS14042)装着時]
2.3 W（撮影時）[交換レンズ(H-FS014042)装着時]
2.0 W（撮影時）[交換レンズ(H-H014)装着時]
1.7 W（再生時）[交換レンズ（H-PS14042）装着時]
1.8 W（再生時）[交換レンズ（H-FS014042）装着時]
1.5 W（再生時）[交換レンズ（H-H014）装着時]

カメラ有効画素数	1210万画素
撮像素子	4/3型 Live MOSセンサー　総画素数1306 万画素、 原色カラーフィルター
デジタルズーム	最大4倍
EX テレコン (各画像横縦比設定の最大記録画素数以外)	ON/OFF単純拡大（他社レンズにも対応）
フォーカス	オートフォーカス/ マニュアルフォーカス 顔認識/追尾AF/23点/1点 /ピンポイント（タッチフォーカスエリア選択可能）
シャッターシステム	フォーカルプレーンシャッター
連写撮影：連写速度 **連写コマ数**	4コマ/秒（高速）、3コマ/秒（中速）、2コマ / 秒（低速） 最大5コマ（RAWファイルあり） カードの空き容量に依存（RAWファイルなし）
ISO感度 **（標準出力感度）**	オート/インテリジェントISO/160/200/400/800/1600/ 3200/6400/12800※（1/3 EV ステップに変更可能） ※[拡張 ISO 感度]を設定時のみ
最低被写体照度	約 11 lx(i ローライトモード時、シャッタースピード 1/30 秒) [交換レンズ（H-PS14042）装着時] 約 11 lx(i ローライトモード時、シャッタースピード 1/30 秒) [交換レンズ（H-FS014042）装着時] 約 6 lx(i ローライトモード時、シャッタースピード 1/30 秒) [交換レンズ（H-H014）装着時]
シャッタースピード	60 ～ 1/4000秒 動画撮影中の写真記録：1/30 ～ 1/16000秒
測光範囲	EV 0 ～ EV 18
ホワイトバランス	オートホワイトバランス/晴天/曇り/日陰/白熱灯/フラッシュ/ ホワイトセット1/ホワイトセット2/色温度設定

仕様（続き）

露出	プログラムAE（P）、絞り優先 AE（A）、シャッター優先 AE（S）、マニュアル露出（M）、オート 露出補正（1/3 EVステップ、−3 EV～+3 EV）
測光方式	マルチ測光/中央重点測光/スポット測光
液晶モニター	3.0 型 TFT 液晶（3:2）（約92万ドット）（視野率約100%） タッチパネル
フラッシュ	内蔵ポップアップ式　GN6.3相当（ISO160･m） 撮影可能範囲：約30 cm～約 5.7 m [交換レンズ（H-PS14042）装着、W端、[ISO AUTO]設定時] 撮影可能範囲：約1 m～約4.9 m [交換レンズ（H-FS014042）装着、焦点距離18 mm、[ISO AUTO]、画像横縦比[4:3]設定時] 撮影可能範囲：約 50 cm～約8.0 m [交換レンズ（H-H014）装着、[ISO AUTO]設定時]
	オート/赤目軽減オート/強制発光/赤目軽減強制発光/スローシンクロ/赤目軽減スローシンクロ/発光禁止
フラッシュ同調速度	1/160 秒以下
マイク	ステレオ
スピーカー	モノラル
記録メディア	SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカード
記録画素数 **写真**	画像横縦比[4:3]設定時 4000×3000画素/2816×2112画素/2048×1536画素 画像横縦比[3:2]設定時 4000×2672画素/2816×1880画素/2048×1360画素 画像横縦比[16:9]設定時 4000×2248画素/2816×1584画素/1920×1080画素 画像横縦比[1:1]設定時 2992×2992画素/2112×2112画素/1504×1504画素
画質設定 **動画**	AVCHD [FSH] 設定時　1920×1080画素（60i 記録※ / 約17 Mbps） [SH] 設定時　1280×720画素（60p 記録※ / 約17 Mbps） ※イメージセンサーからの出力は 30 コマ/秒です MP4 [FHD] 設定時　1920×1080画素（30コマ/秒、約20 Mbps） [HD] 設定時　1280×720画素（30コマ/秒、約10 Mbps） [VGA] 設定時　640×480画素（30コマ/秒、約4 Mbps）

クオリティ（圧縮率）	RAW/RAW+ファイン/RAW+スタンダード/ファイン/ スタンダード/MPO＋ファイン/MPO＋スタンダード
記録画像ファイル形式 　写真 　動画	 RAW/JPEG（DCF準拠、Exif2.3準拠、DPOF対応）/MPO AVCHD/MP4
音声圧縮方式	AVCHD：Dolby® Digital（2ch） MP4：　AAC（2ch）
インターフェース 　デジタル 　アナログビデオ 　オーディオ	 USB 2.0（High Speed） NTSC コンポジット オーディオライン出力（モノラル）
端子 　AV OUT/DIGITAL 　HDMI	 専用ジャック（8pin） miniHDMI Cタイプ
寸法	約 幅 107.7 mm×高さ66.6 mm×奥行き 36.8 mm （突起部除く）
質量	約267 g（カード、バッテリー含む） 約225 g（本体） 約362 g［カード、交換レンズ（H-PS14042）、バッテリー含む］ 約432 g［カード、交換レンズ（H-FS014042）、バッテリー含む］ 約322 g［カード、交換レンズ（H-H014）、バッテリー含む］
推奨使用温度	0 ℃～40 ℃
許容相対湿度	10%RH～80%RH
言語切り換え	なし（日本語のみ）

専用バッテリーチャージャー: DE-A99A

定格入力	100 V－240 V　50/60 Hz
入力容量	19 VA
定格出力	DC 8.4 V　0.43 A

リチウムイオンバッテリーパック : DMW-BLE9

電圧/容量	7.2 V/940 mAh

仕様（続き）

交換レンズ　H-PS14042
(LUMIX G X VARIO PZ 14–42 mm/F3.5–5.6 ASPH./POWER O.I.S.)

焦点距離	f=14 mm ～ 42 mm （35 mm フィルムカメラ換算：28 mm ～ 84 mm）
絞り形式	7枚羽根　円形虹彩絞り
開放絞り	F3.5（W 端時）～ F5.6（T 端時）
最小絞り値	F22
レンズ構成	8 群　9枚（非球面レンズ 4 枚、ED レンズ 2枚）
ナノサーフェスコーティング	あり
撮影範囲	0.2 m（W 端時～焦点距離20 mm）～∞（撮像面から） 0.3 m（焦点距離21 mm～ T 端時）～∞（撮像面から）
最大撮影倍率	0.17×（35 mm フィルムカメラ換算：0.34×）
手ブレ補正	あり
O.I.S.スイッチ	なし（手ブレ補正の設定は撮影メニューで行います）
マウント	マイクロフォーサーズマウント
画角	75 °（W端時）～ 29°（T端時）
フィルター径	37 mm
最大径	約61 mm
全長	約26.8 mm（レンズ先端からレンズマウント基準面まで、レンズ鏡筒収納時）
質量	約95 g

交換レンズ　H-FS014042
(LUMIX G VARIO 14–42 mm/F3.5–5.6 ASPH./MEGA O.I.S.)

焦点距離	f=14 mm ～ 42 mm （35 mm フィルムカメラ換算：28 mm ～ 84 mm）
絞り形式	7枚羽根　円形虹彩絞り
開放絞り	F3.5（W 端時）～ F5.6（T 端時）
最小絞り値	F22
レンズ構成	9 群　12枚（非球面レンズ 1 枚）
撮影範囲	0.3 m ～∞（撮像面から）
最大撮影倍率	0.16×（35 mm フィルムカメラ換算：0.32×）
手ブレ補正	あり
O.I.S.スイッチ	なし（手ブレ補正の設定は撮影メニューで行います）
マウント	マイクロフォーサーズマウント
画角	75 °（W端時）～ 29°（T端時）
フィルター径	52 mm
最大径	約60.6 mm
全長	約63.6 mm（レンズ先端からレンズマウント基準面まで）
質量	約 165 g

交換レンズ　H-H014
(LUMIX G 14 mm/F2.5 ASPH.)

焦点距離	f=14 mm (35 mm フィルムカメラ換算：28 mm)
絞り形式	7枚羽根　円形虹彩絞り
開放絞り	F2.5
最小絞り値	F22
レンズ構成	５群　６枚（非球面レンズ3枚）
撮影範囲	0.18 m 〜∞（撮像面から）
最大撮影倍率	0.1×（35 mm フィルムカメラ換算：0.2×）
手ブレ補正	なし
O.I.S.スイッチ	なし
マウント	マイクロフォーサーズマウント
画角	75°
フィルター径	46 mm
最大径	約 55.5 mm
全長	約 20.5 mm（レンズ先端からレンズマウント基準面まで）
質量	約 55 g

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[MENU/SET]を押して、[セットアップ] → [バージョン表示] → [ソフト情報] をタッチしてご覧ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- G MICRO SYSTEMは、マイクロフォーサーズシステム規格に準拠したLUMIXのレンズ交換式デジタルカメラシステムです。
- マイクロフォーサーズ™ 及びマイクロフォーサーズ ロゴマークはオリンパスイメージング（株）の日本･米国･EU･その他各国の商標または登録商標です。
- フォーサーズ™ 及びフォーサーズ ロゴマークはオリンパスイメージング（株）の日本･米国･EU･その他各国の商標または登録商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- Adobeは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC 規格に準拠する動画(以下、AVC ビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合

詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (http://www.mpegla.com) をご参照ください。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

充電式
リチウムイオン
電池使用
Li-ion 20

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

- 付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。
- 当社製 AV ケーブル(別売:DMW-AVC1)をお使いください。
- 当社製 HDMI ミニケーブル(別売:RP-CDHM15、RP-CDHM30)をお使いください。
- ケーブルは延長しないでください。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。	気をつけていただく内容です。

⚠危険

バッテリーチャージャー※は、本機専用のバッテリーにのみ使用する（※以降は、「チャージャー」と表記）

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーは、正しく使う

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

- 専用のチャージャーで充電する

バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない（※以降は、「バッテリー」と表記）

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものは使わない
- 分解や加工（はんだづけなど）、加圧、加熱（電子レンジやオーブンなどで）しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
- 端子部（⊕・⊖）に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体やチャージャーが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。
・チャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
・電源を切り、販売店にご相談ください。

チャージャーは、誤った使いかたをしない

火災・感電・ショートの原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外(交流100 V～240 V以外)で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない

電源プラグは、正しく扱う

火災・感電・ショートの原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります)
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しない

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠警告

乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。

メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わない

雷が鳴ったら、触れない

接触禁止

感電の原因になります。

- 本体やチャージャーには、金属部があります。

ショルダーストラップは肩に掛けて使う

けがや事故の原因になります。

- 首に掛けての使用はしない

ショルダーストラップを乳幼児の手の届くところに置かない

誤ってショルダーストラップを首に巻きつけ、事故につながるおそれがあります。

⚠注意

フラッシュ発光部および AF補助光は、至近距離で直接見ない

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。

フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。

発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなるところ(特に真夏の車内やボンネットの上など)
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ

次のときは、バッテリーを取り出す

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

⚠注意

3Dの撮影について

3D交換レンズを付けて最短撮像距離より近い被写体を撮影しない

3D効果がより強く見える場合があり、疲労感、不快感の原因になることがあります。

- 3D交換レンズ(別売:H-FT012)装着時の最短撮像距離は0.6 mです。

3D交換レンズを付けて撮影の際、本機の揺れに注意する

車に乗車中や歩行中などに撮影したブレた画像は、疲労感、不快感の原因になることがあります。

- 三脚の使用をおすすめします。

3Dの視聴について

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D撮影画像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。

3D撮影画像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。

■近視や遠視の人、左右の視力が異なる人や乱視の人は視力矯正めがねの装着などにより、視力を適切に矯正する
■3D撮影画像の視聴中に、はっきりと二重に像が見えたら視聴を中止する

- 3D撮影画像の見えかたには個人差があります。視力を適切に矯正したうえで3D撮影画像をご覧ください。
- テレビの3D設定や本機の3D出力設定を2Dに切り換えることもできます。

⚠注意

3Dの視聴について

3D撮影画像を視聴する場合は、30～60分を目安に適度な休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

3D撮影画像の視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様がご視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは・・・

■ まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電話	（　　　）	ー	
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは・・・

「メッセージ表示」「Q & A 故障かな？と思ったら」（取扱説明書 詳細操作編）でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	デジタルカメラ/レンズキット/ ダブルレンズキット/ボディ
●品　番	□ DMC-GF5X □ DMC-GF5W □ DMC-GF5 お買い上げの品番に記入してください。
●故障の状況	できるだけ具体的に

● **保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。**
  保証期間 : お買い上げ日から本体１年間
  （但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません）

● **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※ **補修用性能部品の保有期間** 8年

当社は、このデジタルカメラ/レンズキット/ダブルレンズキット/ボディの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口 365日 受付9時～20時
電 話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-638** ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●宅配修理サービスのご案内(Web サイトからもお申し込みいただけます)

パナソニック 修理サービスサイト
http://lumix.jp/repair/ インターネットでのご依頼も可能です。

■ お申込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。
(このサービスをご利用の場合、別途宅配費用がかかります)

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。
また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検 **長年ご使用のデジタルカメラ/レンズキット/ダブルレンズキット/ボディの点検を!**

こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・映像や音声が乱れたり出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体やチャージャーが破損した ・その他の異常や故障がある
▼	
ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）（続き）

■ 宅配修理サービス（Web サイトからもお申込みいただけます）

パナソニック 修理サービスサイト
http://lumix.jp/repair/ インターネットでのご依頼も可能です。

● お申込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。
（このサービスをご利用の場合、別途宅配費用がかかります）

■ 一眼カメラ　使い方、お手入れ、修理に関するご相談

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口　365日 受付9時～20時

電 話　フリーダイヤル　携帯･PHS OK　**0120-878-638**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合　**06-6907-1187**
■FAX　フリーダイヤル　**0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

パナソニック 総合お客様サポートサイト
http://panasonic.co.jp/cs/

地域窓口へ直接お持ち込みされる場合は、ホームページにて地図を掲出しております。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

■ 各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	窓口	電話番号	所在地
北海道地区	札 幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
東北地区	宮 城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山 形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
首都圏地区	川 口	☎ (048)297-7820	川口市戸塚2丁目23-20
	千 葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東 京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17ソーワ山下ビル
	秋葉原	☎ (03)3251-4616	千代田区外神田1丁目8-1第三電波ビル
	国分寺	☎ (042)328-3211	国分寺市東戸倉2丁目38-1
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
中部地区	愛 知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
近畿地区	京 都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大 阪	☎ (06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	吹 田	☎ (06)6338-1241	吹田市春日3丁目20-6
	兵 庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	松 江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	岡 山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20番8号
四国地区	香 川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
九州地区	福 岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
沖縄地区	沖 縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

0112

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/ 携帯

※このサービスはWEB限定のサービスです。

■使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-638**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

■**宅配修理サービスのご案内**(Web サイトからもお申し込みいただけます)

パナソニック 修理サービスサイト

http://lumix.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

●お申込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。
(このサービスをご利用の場合、別途宅配費用がかかります)

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。

パナソニック株式会社　AVCネットワークス社

〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号